

2014年11月10日

横浜ゴム、2014年度第3四半期累計連結決算は 過去最高の売上、営業利益、純利益を達成

横浜ゴム（株）の2014年度第3四半期累計連結決算（2014年1月1日から2014年9月30日）は、売上高が前年同期比4.2%増の4,298億円、営業利益が同6.5%増の319億円、経常利益が同2.5%減の303億円、純利益が同27.4%増の249億円となり、過去最高の売上、営業利益、純利益を達成した。主力のタイヤ事業は国内新車用と海外が好調に推移し、工業品事業とその他の事業はシーリング材とゴルフ用品が伸びた。原材料価格の低下や為替円安も大きく影響した。

タイヤ事業は売上高3,375億円（前年同期比4.4%増）、営業利益248億円（同12.7%増）の増収増益となった。国内新車用は自動車生産台数の増加に支えられ好調に推移した。国内市販用は消費税増税前の駆け込み需要、降雪によるスノータイヤの販売増、低燃費タイヤブランド「BluEarth（ブルーアース）」の販売強化により販売量、売上高ともに前年同期比増となった。海外は中国や欧州などで販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回った。

工業品事業（ホース配管、シーリング材、コンベヤベルト、ゴム支承、マリンホース、防舷材など）は、売上高734億円（前年同期比4.3%増）、営業利益50億円（同7.6%減）の増収減益となった。ホース配管事業は国内で建設機械用が好調だった。自動車用ホースは北米で好調だったほか輸出入も堅調で売上高は前年同期比増となった。工業資材事業は海外向けマリンホースの販売は回復したが、コンベヤベルトの海外市況が低迷し売上高は前年同期を下回った。ハマタイト・電材事業は建築向けシーリング材が好調に推移し、売上高は前年同期を上回った。

その他の事業（航空部品、ゴルフ用品など）は、売上高189億円（前年同期比1.0%増）、営業利益21億円（同17.8%減）の増収減益。ゴルフ用品は「egg（エッグ）」シリーズが好評で売上高は前年同期を上回った。航空部品は官需が低調だったが、民需が堅調に推移し売上高は前年並みとなった。

通期の業績は8月公表値である売上高6,350億円（前年同期比5.5%増）、営業利益630億円（同11.2%増）経常利益600億円（同0.8%増）、純利益420億円（同20.0%増）を据え置く。配当は中間配当を一株あたり2円増配の12円、期末配当を2円増配の14円とし、年間で一株あたり26円を予定している。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下、田中
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

決算ハイライト

(百万円)

	2014 年度第 3 四半期累計 (2014.1.1~2014.9.30)	2013 年度第 3 四半期累計 (2013.1.1~2013.9.30)
売上高	429,810	412,410
営業利益	31,868	29,921
経常利益	30,339	31,118
純利益	24,919	19,553
純資産	300,415	255,471
総資産	675,865	605,808
一株当たり当期純利益 (円)	77.11	60.50
	2014 年度第 3 四半期 (2014.7.1~2014.9.30)	2013 年度第 3 四半期 (2013.7.1~2013.9.30)
売上高	145,933	142,724
営業利益	8,281	10,864
経常利益	7,732	10,490
純利益	6,961	6,578

セグメント別

(百万円)

	2014 年度第 3 四半期累計 (2014.1.1~2014.9.30)	2013 年度第 3 四半期累計 (2013.1.1~2013.9.30)
事業別：		
売上高		
タイヤ	337,514	323,302
工業品	73,406	70,402
その他	18,889	18,705
営業利益 (▲損失)		
タイヤ	24,818	22,028
工業品	4,985	5,395
その他	2,053	2,497
消去	10	▲0
所在地別：		
売上高		
日本	247,321	242,467
北米	104,969	98,951
アジア	39,291	34,718
その他	38,227	36,272
営業利益 (▲損失)		
日本	26,385	28,422
北米	1,901	3,716
アジア	5,964	2,907
その他	▲1,173	▲2,269
消去	▲1,210	▲2,856

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。アジアはフィリピン、タイ、中国、台湾。その他は欧州、大洋州。